

東海・東南海・南海地震、また広範囲で甚大な被害をもたらすと予想されている南海トラフ巨大地震などの発生が危惧されています。大地震はいつ起きてもおかしくない状況であり、大地震が起きれば、津波に襲われる可能性もあります。

南海トラフ巨大地震および大津波を想定した4・5ページの津波・地震防災訓練では、市で初めての大規模な津波避難訓練のほか、約100の機関が参加し、皆さんが自由に参加できる訓練も行われます。

災害に対して事前の備えがあれば、被害を大きく減らすことができます。自分や家族の身を守り、地域で助け合うために、できることは何かを考える機会にしましょう。

1 災害の情報はどこで知るか？

8月31日(日)の訓練では、訓練放送や訓練メール送信を行います。

【へきなん防災メール】

市民の皆さんがどこでも迅速に防災情報を受けられるよう、さまざまな防災情報を携帯電話やパソコンで配信するサービスを行っています。

あらかじめ登録したメールアドレスにメールが届きます。メール機能を使って、個人でいつでも登録、解除できます。災害に備えて登録ください。
※登録は無料ですが、メール受信などにかかる通信料は利用者負担です。通信環境などにより、サイトへのアクセスおよびメール受信に時間がかかる場合があります。

●配信情報 (次の3種類から希望する情報を選択)

気象情報 気象警報など

防災情報 地震情報、津波情報、避難に関する情報など

火災情報 市内の火災情報

●登録方法

QRコードを読み取り、携帯電話、パソコンから空メール(件名、本文不要)を送信し、返信される仮登録完了メールから本登録してください。

※QRコードの読み取りができない場合は**bousai.hekinan-city@raidan.ktaiwork.jp**へ空メールを送ってください。なお、迷惑メール防止機能を使用している場合、登録する前に**hekinan-city@raidan.ktaiwork.jp**からのメールを受信できるように設定してください。

【緊急速報メール】

災害発生時の避難勧告など、特に緊急性の高い情報を迅速に提供するため、緊急速報メール(NTTドコモのエリアメール、auおよびソフトバンクの緊急速報メール)を運用しています。

対応機種の手帳型携帯電話へ、市からの災害情報を緊急速報メールで市内に一斉配信します。情報配信時に通勤や通学などで市内を訪れている人へも配信されます。

※配信できる情報は特定の緊急性の高い情報に限定しており、気象警報などは配信しません。また、機種により緊急速報メールを受信できない場合や、受信設定が必要となる場合があります。

【同報無線】

津波が発生した場合の情報伝達手段として、市内の沿岸部に20か所の同報無線を整備しています。津波警報や緊急地震速報など時間的余裕のない事態が発生した場合に、人工衛星を用いて情報を送信し、市の防災行政無線や市役所内の館内放送を自動で起動し、緊急情報を瞬時に伝達します。



【Pitch FM (83.8MHz)】

災害時に持ち運びができ、停電中でも使用できるラジオは、情報を得るための最も有効な手段となります。

Pitch FM (ピッチエフエム) は碧海地域を中心に地元の情報をラジオ放送しており、災害時には各市の災害対策本部と連携して災害情報が放送されます。地震や台風など災害時にはPitch FMをご利用ください。

また、ラジオを受信しにくい場合でも、インターネットを介してパソコンやタブレット端末、スマートフォンで放送を聞くことができます。



無料災害情報アプリ
KATCH & Pitch 災害情報
被害状況や避難情報を見ることができ、Pitch FMも聞けます。



△iOS端末



△Android端末

※QRコードの読み取りができない場合は、「KATCH災害」で検索してください。

2 身のまわりは安全ですか？

まわりのものが危険物に

地震が起きたとき、揺れでケガをしないことが第一です。建物の耐震化とともに、自宅や職場などの身の回りを確認しましょう。外出先では危険な場所や安全な場所をチェックする習慣をつけましょう。

「たおれる」もの固定
L字金具など



「うごく」もの固定
耐震粘着マット/チェーンベルト



「われる」もの対策
飛散防止フィルム



「とぶ」もの固定
ラッチ/すべり止めマット



ブロック塀の無料耐震診断

ブロック塀は、地震などの災害時には倒壊や落下など、命を脅かす危険なものへと変わる場合があります。道路に面するブロック塀は、特にその安全確保が求められます。

そのため、ブロック塀の耐震診断を無料で行っています。是非ご利用ください。

対象 市内の道路・公共施設の敷地に面するコンクリートブロック塀で、道路からの高さが1m以上のもの

※無料診断は1つの敷地につき1回です。

申込み 所定の申込書を防災安全課防災係

非常持出袋の準備

非常持出品はまとめて、すぐに持ち出せるようにしましょう。持出品は男性で15kg、女性で10kgまでが目安です。また、持出品の使用期限を定期的に確認しましょう。

【非常持ち出し品の例】

・食料品関係

□水(1人1日3リットルが目安)

□非常食
□粉ミルク
□哺乳ビン

・衣類関係

□タオル
□衣類
□下着
□雨具



・日用品

□懐中電灯
□携帯ラジオ、イヤホン
□予備電池
□携帯電話、充電器
□卓上コンロ
□ライター
□ティッシュペーパー
□トイレットペーパー
□おむつ
□生理用品
□ビニール袋

・安全対策

□救急医療品、常備薬の予備
□底の厚い靴
□ヘルメット
□軍手
・貴重品
□現金・小銭
□預金通帳、権利証書など
□身分証明書、カード類など
□印鑑

・その他

□メガネ、入歯など



チェック表を使って、備蓄がちゃんとあるか、非常袋に必要なものが入っているか、チェックしてみよう。